

創立70周年記念誌



平和通りの桜（日本さくら名所100選）



日立商工会議所

目 次

1	挨拶	日立商工会議所	会頭	秋山 光伯	1		
2	祝辞	日立市長	小川 春樹		2~5		
		日立市議会	議長	茅根 茂彦			
		日本商工会議所	会頭	三村 明夫			
		茨城県商工会議所連合会	会長	大久保博之			
3	創立70周年を迎えて一言	副会頭	小峰 保信	郡司 洋子	武田 太志	小泉 裕樹	6~10
		部会長	前島 康	宮本 洋治	松山 恒男	清水 勉	
			佐藤 泰博	峯島 健寿	小沼 淳志		
		委員長	沢畑 正剛	白土仙一郎	武士 洋一	金澤 好利	
			三澤 俊介				
		女性会会長	佐々木悦子				
		青年部会長	寺家 通浩				
4	日立商工会議所プロフィール	(1) 歴代の会頭					11~19
		(2) 令和元年期役員・議員					
		(3) 70年のあゆみ					
5	特別寄稿	「今思うこと」	日立商工会議所	顧問	宮崎 哲雄		20~25
		「創立70周年と日立市のいま」	日立商工会議所	顧問	山本 忠安		
		「私と商工会議所」	日立商工会議所	名誉議員	五十嵐 宏		
		「創立70周年を迎えて」	日立商工会議所	専門相談員	星野 裕司		
		「創立70周年を祝して・今思うこと」	(公財)日立市公園協会	会長	根本 甲		
		「創立70周年記念誌の発刊に寄せて」	日立税務署	署長	寺門 昇		
		「これまでを振り返って思うこと」	日立労働基準監督署	署長	小室 順		
		「日立商工会議所の活動に敬意」	日立公共職業安定所	所長	大貫 斉		
		「日立商工会議所と日本公庫」	日本政策金融公庫	日立支店長	林 弘二		
		「この街の未来」	関東信越税理士会	日立支部長	菅原 一禎		
		「祝 商工会議所」	日立市十王商工会	会長	和田 芳信		

創立70周年を迎えて

日立商工会議所
会頭 秋山光伯



日立商工会議所は、昭和25年11月29日に地域総合経済団体として、商工業の総合的発展と社会一般の福祉の増進に寄与することを目的に設立し、歴代会頭の卓越した指導力のもとに役職員が一致団結して会員の信頼を高め、ここに70周年を迎えることができました。

これまでの幾多の経済変動のなかで、70年の長きにわたり活動できましたことは、偏に会員事業所をはじめとする地域商工業者、そして茨城県、日立市や関係機関団体、市民の皆様方の並々ならぬご指導、ご厚意によるものと感謝を申し上げます。

こうした記念すべき年に、関係各位をお招きし、感謝をお伝えするとともに一層のご厚誼を賜りたく、記念式典はじめ関連事業を開催したく考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、やむなく規模縮小、中止とさせていただいたところで、何卒ご理解をいただきたくお願い申し上げます。

今日、私たちを取り巻く経営環境は、コロナウイルス感染拡大の影響が長期化するなか大変厳しく、将来を展望するにあたっては困難な状況となっております。しかしながら、これまでもオイルショック、バブル崩壊、リーマンショック、そして東日本大震災など幾多の困難を乗り越えて参りました。環境変化が激しい今こそ、会員事業所それぞれが自社のあるべき姿や今後の進むべき方向を考える好機と存じます。

会員の多くを占める中小・小規模事業者においては、新たなビジネスモデルの構築や働き方改革への取り組みを加速させ、国、県、市の関連支援策を賢く活用しつつ、自助努力をもってこの厳しいコロナの時代を乗り切らなければならないと考えているところです。

一方、地域の大企業にありましては、リーディングカンパニーとして一層発展し、地域経済をけん引いただき、その中で中小・小規模事業者がともに成長していくことができましたら何よりと考えているところです。

意義深い70周年を契機に、地域の産業すべてに息づく「ものづくりの精神と力」を強みに、会員の声に心を寄せ、また関係機関と一層連携し、商工会議所の使命達成に向けて、なお一層努力してまいりますので、今後ともご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、関係者皆様の益々のご健勝とご発展を心から祈念し、創立70周年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

祝 辞

日立市長 小 川 春 樹



この度、日立商工会議所が創立70周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

また、秋山会頭をはじめ日立商工会議所の皆様方には、日ごろから本市の産業振興はもとより、市政各般にわたりまして多大なる御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

日立商工会議所におかれましては、昭和25年の創立以来、バブル崩壊やリーマンショック、東日本大震災による経済の低迷など、数々の経済危機に直面しながらも、時代や地域のニーズを踏まえた様々な事業を展開し、70年という長きにわたり、地域経済やまちの活性化に多大な御貢献をいただいております。これもひとえに、歴代会頭をはじめ、関係者皆様方の熱意と御尽力の賜物であり、衷心より深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

本年の新型コロナウイルス感染症の拡大におきましても、地域経済への影響が顕著となる中、外出の自粛により特に大きな打撃を受けた飲食店を支援するため、「おうちでひたちごはん」事業として、いち早くテイクアウト等に取り組む店舗の情報を発信され、半額キャンペーンとの相乗効果により、参加店舗の売上確保と事業継続に御尽力いただきました。

感染症の拡大に伴い、中小企業におきましても、テレワークやオンラインによる会議・商談など、新たなビジネス手法の導入を迫られるとともに、少子高齢化による事業継承や人材確保の課題、さらには、IoTやAIに代表される技術革新が進むなど、時代はまさに大きな転換期を迎えております。このような状況の中、日本有数のものづくりのまちとして発展をしてきた本市が、今後も持続的かつ力強く発展していくためにも、本市の地域経済をお支えいただいている日立商工会議所の役割はますます重要になると考えております。

本市といたしましては、地域経済を牽引する中小企業への支援を加速させるため、平成30年に、県内の市町村では初となる「日立市中小企業振興基本条例」を制定いたしました。今後も、新たな雇用や産業を呼び込むために必要な、地域の将来展望につながる施策の創造と実現にスピード感をもって取り組んでまいります。

地域の未来を担う中小企業に、より一層のきめ細やかな支援を行う上で、日立商工会議所のご支援とご協力は必要不可欠でありますので、皆様方におかれましては、今後とも、次世代を担う企業・人材の育成役として、また、中小企業にとって頼れる相談役として、引き続きましてのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立70周年を契機といたします、日立商工会議所の更なる御発展と、会員の皆様方のますますの御活躍を心からお祈り申し上げます。

祝 辞

日立市議会
議長 茅 根 茂 彦



日立商工会議所が創立70周年を迎えられますことに、心からお祝い申し上げます。

貴所が創立された昭和25年から今日に至るまでの我が国では、戦後からの復興を実現し、高度経済成長を成し遂げ、世界をリードする大国となった輝かしい歴史がある一方、バブル経済やITバブルの崩壊、リーマンショックによる世界規模での混乱のほか、東日本大震災などの甚大な自然災害を経験するなど、まさに激動の70年でありました。

この間、日立市が幾多の難局を乗り越え、世界レベルの産業と技術を磨きながら、ものづくりのまちとして発展してこられたのは、ひとえに、日立商工会議所の秋山会頭をはじめとする歴代の役員並びに関係者の皆様のご尽力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

令和という新たな時代となった今、AIやIoT、ビッグデータ等が牽引する第4次産業革命が進展し、これらの先進技術を産業や生活に取り入れる「Society 5.0」時代の到来に向けた動きがある中、企業を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。また、我々の身近な生活においては、キャッシュレス決済の普及や、新型コロナウイルス感染症の対応に伴うテレワークの拡大など、ライフスタイルや消費行動などにも変化が生じており、まさに今、大きな転換期を迎えております。

こうした中であって、日立商工会議所におかれましては、「新時代で躍進」をスローガンに掲げられ、会員事業所の経営安定と持続的発展のため、時代のニーズや変化を捉まえながら、日立市の地域性や独自性を最大限に引き出し、商工業に携わる方々の活動をきめ細かく支援されており、大変心強く感じる次第です。

激動の変革期にあることに加え、令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症の蔓延による緊急事態など、先行きが不透明であり、予断を許さない状況下にあります。地域経済発展の担い手として日立商工会議所が果たす役割は、これまで以上に大きくなっていくものと存じます。

昭和、平成、そして令和の時代へと力強く歩まれてこられた日立商工会議所が、この70周年を契機として、次代を見据えたアイデアあふれる取組を更に充実させ、豊かで活力ある地域社会の実現に向け、引き続き活躍されますことを心からご期待申し上げますとともに、会員の皆様のますますのご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

日本商工会議所
会頭 三 村 明 夫



日立商工会議所が、創立70周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

日立商工会議所は、昭和25年の創立以来、激動の歴史の中で幾多の困難に立ち向かい、常に地域のリーダーとして、商工業の振興や地域経済社会の発展に大きく貢献されてこられました。これも偏に、歴代、そして現在の役員・議員・会員、青年部・女性会、そして事務局の皆様の弛まぬご尽力の賜物と存じ、深く敬意を表します。

日立商工会議所におかれましては、会員事業所の経営安定と持続的発展のため、経営力・生産性の向上や販路開拓支援などに精力的に取り組まれ、多くの実績をあげてこられました。経営基礎から労務面など幅広いジャンルを貴所ホームページから聴講できる「セミナーオンデマンド」の実施のほか、首都圏で開催された展示商談会に商工会議所ブースを確保し、会員企業が技術や製品をアピールする機会としてビジネス拡大を後押しされるなど、中小企業が抱える様々な経営課題の克服に大きく寄与されておられますことは、誠に心強い限りです。

また、地域の飲食店にて、地元食材を活かしたメニューを楽しむことができる「ドリンクラリー」を継続的に開催され、地域店舗のPRや賑わい創出に資するイベントとして好評を博していると伺っております。今後も、商工会議所が会員企業の活力強化や地域活性化に重要な役割を果たし、大きく貢献されますことを強く期待しております。

さて、わが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な流行により、未曾有の危機に直面しており、休業や営業自粛などによる深刻な打撃を受けた中小・小規模事業者等は大変厳しい状況にあります。正常化に至るまでにはかなりの長期戦を覚悟しなくてはなりません。経済活動が段階的に再開された今、新たな感染拡大を防止しつつ、地域経済再生に向けて果敢に挑戦し、輝く地域を次代へと繋いでいくことが重要です。

日本商工会議所は、現場主義・双方向主義のもと、地方創生と中小企業の活力強化を両輪とした成長をめざし、全国515商工会議所のネットワークを最大限活用し、皆様の挑戦をこれからも全力で後押ししてまいります。

秋山会頭の力強いリーダーシップのもと、より一層結束を深められ、積極的な活動の展開により、さらに豊かで活力ある地域が創造されますことを衷心よりご期待申し上げます。

祝 辞

茨城県商工会議所連合会
会長 大久保 博 之



日立商工会議所の創立70周年の祝賀に当たり、心からお祝い申し上げます。

昭和25年、戦後の混乱から復興に向かう中で、新しい地域の理想と希望を掲げて創立された日立商工会議所は、企業の発展と社会全体の振興に多大な貢献を果たして来られました。同時に、進取の気概と強い熱意をもって幾多の試練や危機を克服してきた商工会議所の歩みは、鉦工業都市・日立市における経済発展の歴史そのものであると理解いたしております。

ここに、秋山会頭をはじめ歴代会頭、役員、議員の皆様の献身的なご尽力と会員各位ならびに職員の方々のご努力に対し、深く敬意を表したいと存じます。

今日、地域経済は新型コロナウイルス感染症の影響によって需要が蒸発するなど力強さを欠き、立ちすくみの状況が続いています。このため、感染拡大防止と経済活動を両立できる環境の整備を急ぐことが最優先課題となっています。一方、中小企業にあっては、コロナ禍の長期化を見据えつつ新しい日常に対応した生産・流通・販売の新たなビジネスモデルを再構築し、社会の変化に応じた展開力と競争力の確保に磨きをかけていくことが重要となっています。

商工会議所は、コロナ禍や人口減少の加速化などによって不確実性が高まる中、中小企業が進める環境変化への柔軟な対応支援やデジタル技術を活用した生産性の向上支援、地方移転と地方創生の加速化促進などに取り組み、地域の未来を一段とリードしていくことが求められています。

日立商工会議所におかれましては、地域に根づいてきたモノづくりの精神を継承し、企業に意欲と元気を吹き込む事業に邁進するとともに、海洋資源・歴史遺産をはじめとする地域資源を活かした地域づくりに取り組みなど、一丸となってあらゆる可能性に挑戦されています。これらの事業の数々は着実に地域全体に浸透し、日立商工会議所の存在がますます大きくなっていることに心強いものを感じています。

70周年という節目は、日立商工会議所が地域とともに歩んできた長い歴史と伝統の教訓に学びながら、新たな決意をもって進むべき針路を明確にする機会になるものと期待しております。

記念すべき70周年を契機として、3千1百会員の相互連携を深められるとともに、想像力を発揮した活力ある地域社会の実現に向けて、さらに飛躍されますようご祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。

副会頭 小峰 保信



平成28年11月に副会頭を拝命、秋山会頭のリーダーシップのもと、商工会議所事業に携わってまいりました。

私の業種柄、ものづくりという日立市の基幹産業に携わっていることから、それまでは、部会・業界のことを主に商工会議所活動に関わって参りましたが、就任以降は、全体の動きに関わり、公式行事への参加も増え、見識の広まりと共に、商工会議所活動の重要さや奥深さを日々感じつつ、この職務に誇りをもって日々を送っております。しかし、その背景には、様々な要因による産業の構造変化が起こり、地域の経営環境が著しく変化する中で、それらをいち早く捉えた事業活動が会員の皆様から望まれていると感じざるを得ません。先人の皆様が、その時代に沿った対応により今の私たちがあるという軌跡を忘れてはならないと感じています。

今後においては、不確実性の時代と言われており、益々この地域の経営環境変化が促進されることが予測されます。商工会議所ならではの交流と事業活動について模索していきたいと、思いを新たにしているところです。引き続き、商工会議所事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

副会頭 郡司 洋子



私と商工会議所との関わりは古く、珠算検定を通して早50有余年の月日が流れました。

折しも、本年はコロナ禍の影響で周年行事は取りやめになりましたが、創立50周年の際には記念事業に賑わいを添えるため、私が所属している文化産業部会と日立珠算連盟とで、八王子の仲間が保管するそろばん神輿渡御や優秀な珠算選手を招待しての模範演技披露などが懐かしく思い出されます。

時代と共にそろばんを習う生徒は減少しましたが、そろばんへの情熱は変わっておりません。現在も珠算振興のため、日々、生徒や保護者への働きかけ、シニア向けの学習会等を通し、指導を続けております。

日立珠算連盟を通して長い年月を商工会議所と共に歩み、縁あって平成28年から副会頭の任にも就きましたが、「一期一会」を大切に、これからも商工会議所活動に微力ではありますが力を尽くしてまいりたいと思います。

副会頭 武田 太志



日立商工会議所の創立70周年を迎えられたことにお慶びを申し上げますとともに、微力ながら副会頭の一人として商工会議所活動に関わっていることを嬉しく思います。

戦後まもなく開所した日立商工会議所は、日立市が焼け野原からの急速な復興を成し遂げる中で、重要な役割を果たしたと、また創成期に関わった先輩諸兄には相当なご苦労とそれに立ち向かう熱意があったことは想像に難くありません。私もそのような伝統のある日立商工会議所の議員として、誇りに思うとともに、人口減少、企業数減の現状を少しでも改善していく努力を続けなくてはいけないと感じています。今は第4次産業革命の真ただ中にあり、中国など新興国の台頭も目覚ましく世界でも日本国内でも企業は競争の波にさらされています。

そこで、これからの日立の企業はどうあるべきか考え、人や海山の自然、歴史など地域資源を生かし、そこに暮らす市民が笑顔で働ける地域を維持し、拡大することに、これからの日立商工会議所の存在意義があるのだらうと思えます。

副会頭 小泉 裕樹



日立商工会議所が創立70周年を迎えられたことに心から慶びを感じるとともに、この節目の時に副会頭という大役を任されていることに、身が引き締まる思いであります。

ここに創立70周年を迎えられたことは、会員事業所の皆様、関係各位のご支援、ご協力の賜物であり、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、我々を取り巻く環境は新型コロナウイルス感染症の影響から、これまでに経験したことのない大変厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で、日立商工会議所では会員事業所の皆様の問題、課題の解決に向けた相談など、今後の経営の継続維持に役立つ存在として積極的に取り組むとともに、この地域の英知を結集して地域、業界の活性化に繋がる事業を推進していきたいと思えます。

結びに、会員事業所の皆様の益々のご隆盛をご祈念申し上げますとともに、引き続いての皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

商業部会
部会長 前島 康



日立商工会議所の創立70周年を迎え、積み重ねられた歴史の重みや昭和・平成・令和と激動の時代を先人達が不屈の精神により乗り越えたという歴史の重みを改めて感じております。

また、商工会議所の活動を通して出会いや気づき・新しい発想、そして業界を超えた裾野の広がりが生まれること、ありがたく思います。

同時に次の10年を考えてみますと第3次産業が増えすぎたこともあり、ITやソフトウェアなどの第4次産業そして、第1次から第4次までの枠にとらわれることなく業務を自由に融合したり発展させたりして、これまでになかった価値を生み出す新しい概念である第5次産業に移行するといわれております。

商業部会としても、それらの変化に対応するためにIT・事業継承・法律・会計・自己啓発などが鍵になってくるとわれ、より深い事業の実施をきっかけに日上市を引っ張りリードする人材を輩出できるよう尽力させていただきます。

工業部会
部会長 宮本 洋治



日立商工会議所が創立70周年の記念すべき節目を迎えられた事に対し、心からお祝い申し上げます。

この記念すべき日を迎えられたのは、偏に設立以来商工会議所の運営に尽力された役職員各位の弛まぬ努力の賜物です。関係者に対し、深甚なる敬意を表したいと存じます。

現在新型コロナウイルス感染症の影響で、経済はかつて経験した事のない危機的状況に陥っていますが、歴史を振り返れば昔から各種伝染病の類は、度々人類を危機的状況に追い込みました。しかし、人類は必ず智慧を以てこれに乗越え、豊かな社会に転換してきました。

コロナウイルスは未だ楽観視出来ない状況ですが、この様な時こそ、中小企業の拠り所である商工会議所の真価も試されます。

日立商工会議所の70周年を節目に、商工業者は勿論の事、地域社会からも頼られる商工会議所として、更なる飛躍をされますよう、ご祈念申し上げます。

建設業部会
部会長 松山 恒男



日立商工会議所創立70周年おめでとうございます。
私も昭和56年6月より議員となり、会員皆様への情報提供のために各地へ出向いて研鑽を重ね、更には会員サービス委員長も務めました。平成19年6月、当時建設業部会長の秋山様から部会会長を引継ぎ、地域業界発展のため、商工会議所事業への参画に誇りを持ち、建設業界にとって重要な活動の在り方や労働安全はもとより、若手の育成にも主眼をおき、今日まで部会事業を進めてまいりました。

平成23年3月11日には東日本大震災が発生、激甚災害となり、道路網・電気・ガス・水道・通信等のインフラ整備、住宅、公共施設の被災に業界あげての復旧に取り組みました。以降も各地の災害の報には心を悼めます。

現在コロナ禍にあり、働き方も職種により大きく変わり、デジタル化等先進技術の導入も進んできましたが、基本に忠実で地道な活動を展開し、若者に魅力ある建設業界へと進めていきたいと考えております。私たちが作る建築物・道路・橋・トンネル等総てのものは、地図や形となって残ります。こういったやりがい・夢のある職業として若い方の入職を期待しております。

結びに、日立商工会議所の益々のご発展とご繁栄、併せて会員皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念致しましてお祝いの言葉といたします。

金融財務業部会
部会長 清水 勉



このたびは、日立商工会議所の創立70周年の報に接し誠に喜ばしく、また、設立に向けた先人の努力と、歳月を経て令和の現代まで脈々と引き継がれたことを思うと、感慨深く感じ入ります。

70年前といえば、戦後5年幾月を過ぎたばかりで、まさに、日上市の歴史のうねりの真只中であつた時期です。市内各地の日立製作所の工場でのものづくりの音、日立電鉄の音、労働者の声、戦後引揚者の汗、学校新設と若者の声、街の復興に伴う賑わいやざわつき。これらの激動のなか、設立当初の532人の会員のみならず、がむしゃらに生きることで事業の発展と従業員の生計維持を実現してきたことでしょう。

日立商工会議所では、事業者の様々な課題に対して常に真正面から立ち向かってきたからこそ、当代においても常に前を見据えた活動が続いているわけです。ここに日立商工会議所を筆頭とした市内事業者の益々の発展を祈念せざるを得ません。金融財務業部会としても微力ではありますが、これからも、お互いの力を結集することで光輝く日上市のために尽くして参ります。

観光環衛業部会
 部会長 佐藤 泰博



日立商工会議所創立70周年、おめでとうございます。
 日立商工会議所は会員事業所の力となり、地域を活性化し、より良い日立をつくるために活動してきました。昭和、平成、令和とその時代々々の役職員、関係各位が一丸となって活動してきた積み重ねが軌跡となってこの70周年という節目の年を迎えられたのだらうと思えます。

私も平成10年より日立商工会議所の議員となり、微力ではありますが会員事業所と商工会議所、あるいは行政や関係機関との橋渡しをさせていただいております。

今年は新型コロナウイルスの影響により、世界中が深刻なダメージを受けています。当部会に所属する飲食、理美容、クリーニング、宿泊業なども非常に厳しい状況が続いています。

このような中、当部会では各業界とのパイプ役として、地域経済の活性化に向けた機能を発揮し事業を推進してまいります。元気で活力ある“ひたち”のために、この街の未来のために一緒に行動していきましょう。

引き続き会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

交通運輸業部会
 部会長 峯島 健寿



この度は日立商工会議所が創立70周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当部会の会員各社においても非常に大きな打撃を受けております。特に交通分野においては、学校の休校や企業の休業、在宅勤務の拡大による影響が大きく、利用者が大幅に減少している状況にあり、更にはアフター コロナを視野においた対応も検討しなければなりません。また、日本政府が推し進めるGo To各事業による効果を期待するものの、現状貸切バスの稼働は極端に落ち込んでいます。

このような部会としての活動を計画しにくい環境下ではありますが、当部会としては、業界のイメージアップ促進、人材確保支援としての高校生のインターンシップ受入れ等の施策に取り組んで参ります。

私自身、部会長の任を仰せつかって2期目となります。微力ながら当部会の会員各社の皆様のお役に立てるよう尽力させて頂く所存でありますので、引続きのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、日立商工会議所の一層のご発展を祈念致します。

文化産業部会
 部会長 小沼 淳志



この度は日立商工会議所創立70周年、おめでとうございます。

思い起こせば、私も商工会議所会員になり35年。お世話になりました、ちょうど半分の期間になります。お陰様で多くの経営者様、職種の違う方々とお付き合い、ご婦人方の女性会等、本当にいろいろな方々との交流ができて大変勉強になりました。そして、それが自身の知識向上と、いい意味で会社の経営方針に多大なる影響を与えてくれました。私ももうすぐ喜寿を迎える歳となりました。これからは若い人達、青年実業家の方々に、私たちの経験談、失敗談や、年寄りじゃないと分からない事をお伝えして行けたらと思っております。

最近、地球温暖化の影響で、海水温が上昇し、毎年やってくる台風の勢いが強くなっています。風速60メートルだの、降雨量が800ミリだのと、これにコロナと地震と噴火がやってきたら、日本の国はどうなってしまうのでしょうか。考えれば考えるほど、将来がわからなくなってしまうようです。ですが、前向きに生きていけば必ずいいことがあります。「過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる」この信条をもって、これからも日立商工会議所の皆さんと共に歩んで参りたいと思えます。

運営委員会
 委員長 沢畑 正剛



日立商工会議所が創立70周年を迎え誠にありがとうございます。

折しも、今年は新型コロナウイルス禍で式典は断念しましたが、弊社も「創業100周年」を迎えました。30年の違いはございますが、長く続けてきたことに変わりはなく、双方とも大変意義のあることと思えます。

これまで弊社は、日立商工会議所とともに日立市経済活動に参画し、発展のために助力して参りました。景気の良い時もあれば悪い時もありましたが、市内経済人が一致団結し、支えあってきたからこそ、現在の日立市があると思えます。

私も、商工会議所の事業を盛り立てるため、本業の傍らで、運営委員長として、微力を尽くしてまいりました。

今後も、変化する社会の波に揉まれながら続けてきたもの同士、10年、20年さらに末永く続くことを願い、歩んでいきたいと思えます。

会員サービス委員会
委員長 白土 仙一郎



創立70周年を迎えるにあたり、心からお慶びを申し上げます。

日頃から、会員の皆さんには商工会議所運営全般並びに会員サービス事業へのご理解とご参加をいただき、感謝申し上げます。

会員サービス委員長として、手探りですが、3年半その職務を担って参りました。会員の皆さんの健全な事業活動推進、スポーツを交えた会員交流の在り方などの研究、事業を実施しましたが、更なる会員サービスの充実を図るためにも、地道な努力が必要だと考えています。

昨今は、コロナ禍における新たな生活様式が、国の方針などと共に打ち出されました。事業実施についても様々な制約のもと検討しなければなりません。かねがね地域の元気の源は、商工会議所会員の大半を占める、中小・小規模事業者であるとの認識のもと、皆さんの声を事業に反映することで個々の事業者の対応力を高めるなど、まさに商工会議所の役割と力が試される時期だと思っています。

知恵と工夫で、この困難を会員相互の力をもって乗り切りたいと考えています。微力ではありますが、力を注いでまいります。会員皆さんのお力を是非お寄せください。

産業振興対策委員会
委員長 武士 洋一



日立商工会議所が創立70周年を迎えるにあたり、心よりお慶びを申し上げます。

また、商工会議所発展、地域振興に多大な御尽力をいただきました諸先輩方に、重ねて感謝とお礼を申し上げます。

今、時代は社会構造が大きく変化しようとしており、加えてコロナ禍の中で経済活動も大きく様変わりし、デジタル化社会へ早急な対応が求められています。それに伴い、情報の共有と連携、データ活用、システム改善、IT技術の活用等の必要があります。構造の変化において、新生活様式の実践が求められる中、個々の企業も事業の在り方、管理方法、営業の進め方も従来のスタイルから変えざるを得ない時代に突入しております。

しかし一方で、いかなる企業においても良いものを安く、タイムリーに顧客へ提供する仕事の原点は変わらないものと思います。

産業振興対策委員会では、社会の変化にいかに対応していくかを研究する一方、行政と連携を取りながら、それぞれの企業が、個性そして強みを生かし、活力ある地域創出の一助となる活動を目指していきたくと思います。

情報化委員会
委員長 金澤 好利



日立商工会議所創立70周年誠におめでとうございます。

当委員会は、会員密着型による魅力ある会議所ニュースの発行やSNSを活用した情報発信の研究を強化します。

これまでの具体的な情報発信としては、「会議所ニュース（昭和27年6月発刊）」「経済動向（昭和51年発刊）」「市民版（昭和53年発刊）」「景気観測（平成元年開始）」「ホームページの活用」と、どの活動についても長年継続し、研究した成果を会員の皆様始め市民の皆様への発信と共に、先進地域の特徴ある取り組みや県北芸術祭視察を実施し、開催内容の情報提供もいたしました。

しかしながら、今年度においては、新型コロナウイルスの影響で日立市を中心とするイベントが中止になり初めて市民版の発行を見送りました。

今後の主な取り組みとしては、コロナ禍において活用されている「Web会議」「サイバーセキュリティ」についての研究など、これまでのアナログ主体からデジタル社会における会員への有用な情報提供について研究を強化していく所存です。

今後も充実した紙面構成、必要とされる情報発信を目指して研究を重ねてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

観光委員会
委員長 三澤 俊介



日立商工会議所の議員を引き継ぎ、23年が過ぎました。その間、会員サービス委員会を経て、現在の観光委員会に所属いたし、平成25年からは観光委員長を拝命、微力を尽くしております。

観光委員会は、本市の観光振興を商工会議所の立場で、調査研究することを主題に進めてまいりました。本市が有する観光資源の探求に取り組む一方、来街者へ本市の歴史・伝統等を紹介することを目的にさくらまつり会場での「ふるさと日立検定」合格者で構成する「まつり案内人」事業にも取り組み、大変好評を得ております。今後も、検定の施行と合わせまつり案内人事業を地道に続けていきたいと考えています。

しかしながら、市内の名所に人を呼び込むには、まだまだ課題が山積みなのが現状です。今後も関係機関との情報交換の場を設けるなど精力的に活動していきたくと思っています。

この70周年の節目を機に、会員相互のさらなる団結が深められ、会員各位の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げます。

女性会
会長 佐々木 悦子



私と日立商工会議所との出会いは、2013年、当時の女性会会長様より、女性会入会のお誘いをいただいた時から始まります。それまで、自社の経理の仕事はしていたものの、外の世界を知らずにおりました。女性会に優しく迎えていただき、そこで輝く先輩方の姿を目の当たりにし、本当にたくさんのお話を学ばせていただきました。それは同時に、親会である日立商工会議所の多岐にわたる活動を知ることになりました。幾多の困難を乗り越えてきたその『70年』の歴史の重みは、先人たちの努力の証であり、誇りであると思います。会員にとどまらず、広く日立市民に向けて発信し続けてきたからこそその重みではないでしょうか。

このコロナ禍で女性会の会長を仰せつかり、私がまず思ったことは、会員の方々は今どのような状況にいるのか、そして、皆さまと途切れず繋がってほしいということでした。私は、今だからできることは何かを見据えながら、先輩方が継承してきてくださった歴史を次の時代に伝えていかなければならないと考えております。日立商工会議所ならびに女性会の一員として一歩ずつ一歩ずつ前へと。

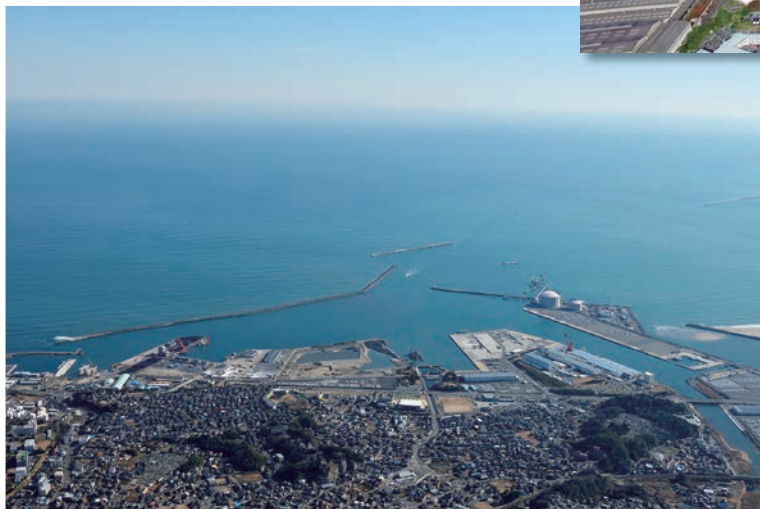
青年部
会長 寺家 通浩



日立商工会議所創立70周年を迎えられた事に際し、心よりお祝い申し上げるとともに、記念すべき節目に青年部会長を仰せつかり大変光栄に思います。

昨年末から世界中に蔓延した新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当青年部においても思うように事業や交流等が出来ない状況にあります。そのような中、少しでも地域住民のために貢献したいという思いから、日立市教育委員会を通し、市内小中学校へアルコール消毒液を寄贈する事ができました。現在もコロナ禍にあり、毎年恒例の事業も開催が困難ですが、部員の想いや意見を集約することで、「令和」という新しい時代にふさわしい新たな事業を模索し、研鑽し組織を強化することで、この難局を乗り越えなければなりません。

今後も日立商工会議所の一翼を担う青年経済団体として、これまで築き上げた歴史を傳承しつつ、「地域の経済的発展」「豊かな郷土を築く」ために創意と工夫、勇気と情熱をもって行動して参ります。



空から見る日立市の海岸線
(約33キロメートルの海岸線を有し、美しい砂浜と澄んだ海。夏には海水浴場が6箇所開かれ、年間を通じてマリンスポーツが楽しめる。また、海上物流の重要な拠点である茨城港日立港区では、現在「完成自動車の輸出入」と「LNG（液化天然ガス）の受入拠点」として日立市の産業を支えている）

(1) 歴代会頭



清水 照 夫

日立セメント(株)
1950.11.29～1957.12.19
(昭和25年～昭和32年)



森 山 華 滋

(有)森山商店
1969.8.1～1973.6.22
(昭和44年～昭和48年)



内 山 佐 平

(株)内山製作所
1958.2.16～1959.4.7
(昭和33年～昭和34年)



関 正 男

(株)関プレス
1973.6.23～1982.6.25
(昭和48年～昭和57年)



内 藤 半 三

(株)日立製作所日立工場
1959.8.22～1961.7.6
(昭和34年～昭和36年)



飯 塚 一 雄

日立電鉄(株)
1982.6.26～1997.3.23
(昭和57年～平成9年)



吉 村 鎮

日立電鉄(株)
1961.7.7～1967.5.31
(昭和36年～昭和42年)



宮 崎 哲 雄

日立ポートサービス(株)
1997.3.24～2001.10.31
(平成9年～平成13年)



篠 原 廣 雄

日立埠頭(株)
1967.6.1～1969.7.30
(昭和42年～昭和44年)



山 本 忠 安

山本理化工業(株)
2001.11.1～2010.11.3
(平成13年～平成22年)

(2) 令和元年期役員・議員

(令和2年11月1日現在)



会頭 秋山光伯
(株)秋山工務店



副会頭 小峰保信
(株)小峰製作所



副会頭 郡司洋子
あゆみ珠算塾



副会頭 武田太志
(株)菓匠たけだ



副会頭 小泉裕樹
(株)河合開発



専務理事 鈴木 昇



理事 根本伸一

(敬称略・順不同)

役 職	氏 名	事業所名
常議員	前島 康	(有)カメプ呉服店
〃	須田 真紳	(株)須田酒店
〃	長山 洋樹	(株)三和商事
〃	梶 修明	プレビ(株)
〃	橋本 成	(有)コンキスタ
〃	稲川 修	(株)日立製作所日立事業所
〃	平田 章	J X 金属(株)日立事業所
〃	堀邊 忍	日立セメント(株)
〃	鈴木 修二	日立金属(株)茨城工場
〃	神山 靖基	三菱パワー(株)日立工場
〃	磯崎 公郎	茨城電機工業(株)

役 職	氏 名	事業所名
常議員	宮本 洋治	久慈鉄工 (協)
〃	武士 洋一	(株)旭製作所
〃	金澤 好利	日立製作所工業 (協)
〃	小島 憲治	(株)日立ゲージ工業所
〃	清水 朋彦	丸善電機工業(株)
〃	小野崎久雅	(株)日立工業所
〃	久保 哲弥	(株)日立リアルエステートパートナーズ茨城支社
〃	鈴木 一良	鈴縫工業(株)
〃	三澤 俊介	藤和建設(株)
〃	松山 恒男	多賀土木(株)
〃	沢畑 正剛	日立土木(株)

日立商工会議所プロフィール

役 職	氏 名	事業所名
常議員	白土仙一郎	(株)白土工務店
〃	齋藤 則夫	(株)岡部工務店
〃	森 秀明	(株)山森
〃	清水 勉	(株)常陽銀行日立支店
〃	岡部 和幸	(株)筑波銀行日立支店
〃	栗田 敏道	茨城県信用組合日立支店
〃	柴田 主靖	(株)キャビンプレス
〃	佐藤 泰博	ブルーバード学園
〃	松山 圭吾	(株)ひたちピーエム商事
〃	松野 雅章	(株)天地閣
〃	峯島 健寿	(株)日立物流東日本
〃	竹野下 靖	茨城交通(株)日立オフィス
〃	小沼 淳志	(株)ジュン・ホーム
〃	木本 貴一	(有)オフィス・バロン
監 事	泉 有	泉税理士事務所
〃	佐藤 友亮	(有)東港堂
議 員	岩田 秀邦	(有)運平堂本店
〃	森嶋鎮一郎	森島酒造(株)
〃	関山 千郎	(株)カーサービスセキヤマ
〃	永岡 誠司	(有)エターナルコーポレーション
〃	砂川 宏	砂川産業(株)
〃	鈴木 俊洋	ワインショップ スズキ
〃	内山 庄栄	(有)内山味噌店
〃	赤須 哲也	(有)玉宝
〃	池澤 健	(有)共同クリーンサービス
〃	大高 文英	(有)大高かおる堂
〃	高沢 法男	ファミリーマート日立川尻四丁目店
〃	永盛 常雄	(株)ナガモリ
〃	山縣 敏史	(有)やまがた屋
〃	吉成 俊昭	カーオーディオカスタムショップヨシナリ
〃	塙 博之	昭和電工マテリアルズ(株)山崎事業所
〃	百目鬼孝一	助川電気工業(株)
〃	吉村 正男	日立南工業団地(協)
〃	根本 甲	(株)亀屋工業所
〃	川又 幸夫	常陽電機工業(株)
〃	星 勝治	スターエンジニアリング(株)
〃	高橋 一雄	(株)ティー・エム・ピー
〃	吉野 邦彦	吉野電業(株)
〃	関 正克	(株)関プレス
〃	木曾 裕次	(株)ハイベック
〃	加倉井明美	(株)日昌製作所
〃	鹿志村高道	(有)カシムラ工業所
〃	澤入 教充	(株)沢平

役 職	氏 名	事業所名
議 員	谷口 元	東京ガス(株)日立支社
〃	朝日 洋	(株)朝日精機製作所
〃	鈴木 茂夫	(株)東日本技術研究所
〃	弓野 博司	(有)日電舎
〃	岩崎 一茂	(株)岩崎左工
〃	田部 充	(株)ミナカワ
〃	瀧田 靖章	大洋商事(株)
〃	益子 進	益三建設(株)
〃	五十嵐達男	イガラシ綜業(株)
〃	梅原 郁夫	梅原材木店
〃	岡崎 瑛	(株)日立アルミ
〃	小林 邦友	スペンサー工業(株)
〃	千葉 幸廣	(株)高橋宗四郎商店
〃	菊地 祐正	日晃茨城計測(株)
〃	秋山 啓市	秋光電気工事(株)
〃	鈴木 博巳	(株)富士塗装店
〃	水庭 明良	飯村機電工業(株)
〃	水庭 博	(株)水庭農園
〃	臼木 民二	臼木証券(株)
〃	勝俣 勝	アクサ生命保険(株)日立営業所
〃	古池 克典	(株)東日本銀行日立支店
〃	江幡 暁	水戸信用金庫日立支店
〃	清野 昌幸	(株)東邦銀行日立支店
〃	佐渡 淳三	(株)魚武
〃	萩庭 晴秀	はぎ屋旅館
〃	鈴木 孝典	新富鮨
〃	田尻桂一郎	ステーキハウス白耳蟻館
〃	川村 昌弘	(株)喜間屋
〃	清家 達也	(株)セカンドアースエンターテイメント
〃	日下 昭行	(株)テラスザスクエア日立
〃	加藤 仁郎	(株)K & K
〃	金子 晃	ヘアサロンAKIRA
〃	原田 実能	(有)鶉の島温泉旅館
〃	渡邊 正昌	(株)栄楽
〃	岡部 昭一	日立地区通運(株)
〃	桑名 智行	日立埠頭(株)
〃	佐々木幸一	佐々木興業(株)
〃	川崎 健輔	(有)辰巳タクシー
〃	長山 晴夫	(有)長山自動車整備工場
〃	石堂 文男	T C 関東
〃	山本 仁	山本理化工業(株)
〃	森 重彰	(有)水戸D・M・S

(3) 70年のあゆみ

年			主な出来事
1948年	(昭和23年)	9.26	日立市商工会の設立
1950年	(昭和25年)	5.31 11.29	商工会議所法の公布（即日施行） 社団法人 日立商工会議所設立（会員数532名）
1952年	(昭和27年)	6月 8.12 12月	日立会議所ニュース発行（第1号はハガキ） 日立商工会館竣工 木造モルタル2階建て442.97㎡ 総建設費600万円 会員名簿の刊行
1953年	(昭和28年)	1月 4月 8.1	中小企業相談所の設置 第1回優良従業員の表彰式（37人を表彰） 新商工会議所法の公布（10.1施行）
1954年	(昭和29年)	4.1 6月 8月	組織変更して発足【3.10総会開催・3.25通産省認可】（会員数552名） 特定商工業者制度の発足 第1回部会会議開催（7部会） 3委員会を組織（総務・金融・税制）
1955年	(昭和30年)	4月 6月	茨城県火災商工協同組合創立（加入） 多賀・久慈両町商工会を合併（会員数973名）
1956年	(昭和31年)	4月 9月	会議所ニュースが月2回の発行となる 川尻地区商業会を統合（会員数1,224名）
1957年	(昭和32年)	2月	商工会議所マークが一般公募で決まる
1958年	(昭和33年)	5月	商工会議所議員定数が90名になる
1959年	(昭和34年)	4月 6月 9月	会議所ニュースが月3回の発行となる 会議所ニュース100号発刊 第1回日立市商工人野球大会を開催（現在の会頭杯野球大会）
1960年	(昭和35年)	11月	当所が週休制のモデル地区に指定される
1962年	(昭和37年)	3月	中小企業退職金共済制度の加入が県内1位（加入者数3,700名）
1963年	(昭和38年)	4月 10月	働く青年の作文コンクールを開催（7人表彰） 商店照明コンクールを開催（12店舗表彰）
1965年	(昭和40年)	11月	日立市工業製品展示会に27事業所が出品（市制施行25周年記念協賛）
1966年	(昭和41年)	9月	第1回日立地区珠算競技大会を開催（163名参加）
1967年	(昭和42年)	5月	議員定数が105名となる 第1回日立まつり開催（昭和54年の13回を最後に中断）
1968年	(昭和43年)	7月	広域商業診断を実施（茨城県・日立市・当所共催）
1970年	(昭和45年)	5月	多賀分館完成（日立産業文化会館4階） 総建設費6,000万円
1971年	(昭和46年)	7月	「日立市あんない」を刊行
1972年	(昭和47年)	9月	日立会議所ニュース500号発刊
1973年	(昭和48年)	6月 10月	議員定数が110名となる マル経資金がスタート（融資額：運転資金50万円、設備資金100万円）
1974年	(昭和49年)	9月	小規模企業振興委員制度が発足（20名）
1975年	(昭和50年)	4月	会費の自動振替がスタート
1976年	(昭和51年)	12月	日立商工会議所青色申告会が発足
1978年	(昭和53年)	3月 9月 10月	日立商工会議所婦人会が発足 日立会議所ニュース市民版第1号を発行 商工会議所制度100周年
1979年	(昭和54年)	5月 6月	中小企業庁委託「商業近代化地域計画」策定 日立地区商店街育成計画事業を実施
1980年	(昭和55年)	11月	創立30周年記念式典を挙行

年		主 な 出 来 事	
1981年	(昭和56年)	4月 6月	第1回商工会議所親善ゴルフ大会を実施 多賀地区商店街振興推進委員会が発足
1983年	(昭和58年)	12月	ふれあいの街ひたち銀座モールが完成
1984年	(昭和59年)	4月 5月	日立商工会議所青年部が発足 中小企業庁委託「商業近代化実施計画」策定
1985年	(昭和60年)	11月	第1回茨城県商工会議所議員大会が開催される
1986年	(昭和61年)	10月	商工会館建設調査委員会が発足
1987年	(昭和62年)	3月	日立会議所ニュース第1000号を発行
1988年	(昭和63年)	10月	新商工会館の起工式が行なわれる
1989年	(平成元年)	6月	商調協が日立駅前ショッピングセンター案件を結審
1990年	(平成2年)	3月 10.16	日立商工会議所会館が完成 (鉄筋コンクリート建 地上4階 地下1階 2,601㎡ 総建設費5.7億円) 創立40周年記念式典・会館竣工合同式典を挙行
1991年	(平成3年)	12月	パティオモールがオープン
1992年	(平成4年)	9月	会員ニーズ調査の実施
1993年	(平成5年)	3月 7月	飲食店ガイドブック「ひたち目でみる味の店」を刊行 第1回日立国際大道芸開催
1994年	(平成6年)	5月	第1回ミニ講座開催(恒例事業となる)
1995年	(平成7年)	11・12月	創立45周年記念会議所ウィーク事業実施
1996年	(平成8年)	1月 7月	地域国際交流拠点支援事業 ニュージーランド経済視察団の派遣 こんにちはキャンペーンの実施
1997年	(平成9年)	8月 10月 11月	第1回ナイトバザールの開催(毎月第2土曜日定例化) インターネット活用情報交流事業委員会発足 お買物無料バスの運行
1998年	(平成10年)	3月 9.14	当所ホームページ「一陽来福ネット」開設 地域特産品等開発事業実行委員会が発足
1999年	(平成11年)	11月	とくとく日立商品券販売 総額3億3千万円
2000年	(平成12年)	11.21	創立50周年記念式典を挙行
2001年	(平成13年)	7月 12.18	『石決明』ブランド品として菓子類を店頭販売 地域内の消費拡大啓蒙などを主とした「地産地消運動プロジェクト事業」がスタート
2002年	(平成14年)	1.16	日立市商店会連絡協議会が発足し、売り出しの統一広報などを行なう。
2003年	(平成15年)	3.24~28 6.29 10.15~17	東・西金砂神社磯出大祭礼挙行(期間中90万人超の出入) 山形県山辺町との交流がスタート 日立工業高校生の職場体験事業がスタート(37社で99名が体験)
2004年	(平成16年)	7.21 11.1	茨城県、茨城大学、日立市、地元企業によるひたちものづくり協議会が発足 日立市と十王町が合併
2005年	(平成17年)	8.27 10.2 10月	第1回宵い酔いぶらりドリンクラリーを開催(参加者800名) 創立55周年記念会員大会を開催 「日立商工会議所会員之章」プレート製作し全会員へ配布
2006年	(平成18年)	5.18 5.29	市教育委員会との連携事業「日立市職業探検少年団」を設立 女性起業家交流グループ「みゅーずnet」設立
2007年	(平成19年)	1.22 8月 9.26	第1回会員交流会を開催(参加者217名) 日立会議所ニュース第1500号を発行 優良土産品推奨事業がスタート。市内推奨店14店舗にオリジナルプレートやシールを発行
2008年	(平成20年)	12.14	第1回ふるさと日立検定試験を実施(受験者312名・合格者294名)
2009年	(平成21年)	5.3~31 10.23~26	定額給付金商店街ドリーム企画、日立市地域ブランド大抽選会を実施 技能五輪いばらき大会2009が日立市をメインに開催

年		主な出来事		
2010年 (平成22年)	5.1~23	5.1~23	創立60周年記念元気！！ひたち謝恩セールアニバーサリー抽選会を開催（112店舗が加盟）	 
		5.8	創立60周年記念暗算チャンピオンスーパーライブを開催	
		5.25	創立60周年記念式典・記念祝賀会を挙げる	
		6.2	酔い宵ぶらりドリンクラリーが、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
		6.12	第6回ドリンクラリーを多賀地区で開催(参加者1,437名)	
		6.21	創立60周年記念さくら基金チャリティコンサートを開催	
		11.4	臨時議員総会を開催し、秋山光伯会頭を選任	
2011年 (平成23年)	2.25	2.25	創立60周年記念さくら基金を日立市へ寄付	 
		3.11	午後2時46分東日本大震災が発生し、震度6強の激しい揺れを観測	
		4.13	日立市被災中小企業特別支援制度説明会を、関東経済産業局・茨城県・日立市担当者により開催	
		4.27	日本商工会議所が東日本大震災被災地見舞い・現地視察に来所（桐生商工会議所（4.5）、山辺町商工会（4.7）茨城県商工会議所連合会（4.18）震災見舞いに来所）	
		5.14	日立市復興チャリティー元気祭りを開催し、35,000人の人出で賑わう（市内飲食店50店舗が協力）	
		6.1	元気祭りの義援金を日立市へ寄付	
		6.2	技能五輪出場者顕彰事業が、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
		6.15~30	東日本大震災被害調査を実施し、1,039件の回答を得る	
		11.5	日立市スーパープレミアム買物券、市内257店舗が加盟	
		2.29	～実施（発行総額3億円）	
2012年 (平成24年)	2.24	2.24	ふるさと日立検定 公式テキストブック中級編が完成	 
		3.26	組織強化が評価され、日本商工会議所会頭から表彰される	
		3.29	観光環衛業部会と市内6飲食店組合の日立市料飲業組合連絡協議会が発足	
		6.5	日立市地域ブランド推進協議会が、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
		7.9	日本商工会議所理事長が来所し、東日本大震災後の復旧復興への取り組みについて懇談	
		9.1	第8回ドリンクラリーを大みか地区で開催(参加者900名)	
		9.1	日立駅情報交流プラザがオープンし、物産・土産品コーナーを合同会社まちづくり日立等と連携して運営	
		10.16	日立市、(公財)日立地区産業支援センターに管内中小製造事業者の支援強化について要望	

年		主 な 出 来 事	
2013年 (平成25年)	1.15	(株)日立製作所執行役社長 中西宏明氏を講師に迎え特別講演会を開催	 
	3.23	青年部が第1回常陸ノ国グルメフェスを開催 (参加店舗 16店 参加者 3,000名)	
	4.26	茨城県知事を講師に特別講演会を開催	
	6.4	女性起業家交流グループみゅーずnetが、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
	7.25 ~2.25	消費税転嫁対策相談窓口を設置し、消費税転嫁対策事業がスタート	
	8.5	日立市と共に茨城県へ、茨城県立日立産業技術専門学院の機能強化について要望	
	8.26 ~12.26	多賀・日立・南部地区の会員事業者と地域別懇談会を開催	
	9.6~28	第9回ドリンク(グルメ)ラリーとして日立・多賀・大みかの3地区で開催(参加者 1,332名)	
	10.28	国から経営革新等支援機関の認定を受ける	
	11.25	(株)日立製作所日立事業所に、日立地域製造業への発注と雇用維持について要望	
	2014年 (平成26年)	1.30	
2.1		三菱重工業(株)と(株)日立製作所が出資する三菱日立パワーシステムズ(株)が設立	
4.1		消費税8%に引き上げ	
4.28		経営計画作成セミナーを開催し、小規模事業者持続的発展支援事業がスタート	
5.22, 28		事業承継セミナーを開催	
6.5		日立珠算連盟が、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
7.12		日立市・(公財)日立地区産業支援センター・日本政策金融公庫と連携し、日立市創業支援ネットワークがスタート	
10.3		茨城大学工学部都市システム工学科の学生の日立駅前周辺商店街の活性化方策の研究成果報告会を開催	
11.18		三菱日立パワーシステムズ(株)執行役員日立工場地域統括竹原勲氏を講師に特別講演会を開催	
2015年 (平成27年)	5.2	日立商工会議所青年部が、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
	6.12	県立日立産業技術専門学院生の企業見学会を開催	
	7.29	三菱日立パワーシステムズ(株)執行役員日立工場地域統括福田寿士氏を講師に特別講演会を開催	
	11.26	JX日鉱日石金属(株)日立事業所(現: JX金属(株))、(株)日立製作所日立事業所の地域幹部を講師に特別講演会を開催	

年		主 な 出 来 事	
2016年 (平成28年)	1.29	経営発達支援計画評価検討委員会 第1回委員会を開催	
	2.4	経営発達支援計画が国から認定され、経営発達支援計画キックオフセミナーを開催	
	3.3	青年部が中小・小規模企業と大学生のマッチング事業 第1回就活フェス in ひたちを開催	
	4.3 9~10	第54回日立さくらまつりで、初めてふるさと日立検定合格者によるボランティアガイドを実施	
	5.10	日立市、イトーヨーカ堂と地産地消・地場産品販路拡大に係る連携及び協力に関する協定を締結	
	6.3	びたバル実行委員会が、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
	6.21	日立市・日立公共職業安定所と共に大手企業に、地元高等学校新規卒業予定者の求人及び地元採用枠の確保について要望	
	6.23	大手企業3社（JX金属(株)日立事業所、(株)日立製作所日立事業所、三菱日立パワーシステムズ(株)日立工場）の地域幹部を講師に特別講演会を開催	
	11.16 ~12.9	経営発達支援事業で経営力向上セミナーを開催（全5回）	
	11.26	経営発達支援事業で、茨城マルシェ「日立うまいもんフェア」を開催（9社）	
2017年 (平成29年)	2.1~2	経営発達支援事業で彩の国ビジネスアリーナ2017に出展（4社）	
	2.14	悠々そろばん学習会でそろばんを始めた吉田さんが、第209回珠算能力検定試験で県内最高齢1級合格	
	3.5	ひたち立商塾が先進商業施設を視察	
	5.31	日立商工会議所女性会が、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
	6.8	制度融資取扱い金融機関担当者と関係機関との連絡会議を開催	
	9.2	第10回ドリンクラリーを4年振りに日立地区で開催（参加店舗62店・参加者926名）	
	9.21	日本商工会議所第126回通常会員総会で常議員（当時）の五十嵐宏氏が議員就任50年表彰を受賞	
	9.25	県内企業の海外展開の事例を中心に、海外販路開拓セミナーを開催	
	11.11 ~12	第41回日立市産業祭に地域活性連携事業として商工会議所ブースを設置	

年		主 な 出 来 事	
2018年 (平成30年)	1.27	新ふるさと日立検定試験を開催し、Sランク合格者を日立商工会議所ひたちマイスターとして認定 (受験者 65名・合格者 36名)	
	2.6	女性会が創立40周年記念式典・祝賀会を開催	
	2.21	寺島実郎氏を講師に迎え、「世界の構造転換と日本の進路～地方経済の活性化について～」をテーマに開催	
	3.20	生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定および固定資産税の特例措置を日立市へ要望	
	5.30	多賀地区連合商店会が、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
	10.18 ～11.8	経営発達支援事業でICT・IoT活用セミナーを開催 (全4回)	
	11.22	外国人技能実習をテーマに、外国人雇用セミナーを開催	
2019年 (平成31年/ 令和元年)	1.21	平成31年度中小企業税制改正の概要をテーマにセミナーを開催	
	2.15	ビッグデータ活用研修会として、「データからみる日立市の地域分析」をテーマに開催	
	5.30	日立青年経営者研究会が、関東商工会議所連合会のベストアクション賞を受賞	
	7.5、16	キャッシュレスフェア in 日立を日立地区と多賀地区の2会場で開催	
	10.1	消費税10%に引き上げと軽減税率の導入開始	
2020年 (令和2年)	1.28	新型コロナウイルスの日本人感染者が初めて確認	
	1.29～30	販路開拓支援事業と経営発達支援事業で彩の国ビジネスアリーナに出展(8社)	
	2.12～14	経営発達支援事業でこだわり食品フェア2020に出展(3社)	
	3.31	3月末会員数 3,128名	

日立商工会議所

顧問 宮崎 哲雄氏



「今思うこと」

日立商工会議所が創立70周年を迎えられましたこと、誠にご同慶の至りです。秋山会頭をはじめ日立商工会議所にかかわる総ての皆様方に心からお祝い申し上げます。

現下の国難ともいべきコロナ禍の中、日立商工会議所が一丸となって、殊に会員の皆様に対し適切な施策と対応に日々ご尽力下さっていることに改めて敬意を表す次第でございます。

この災難が故に、会員あつての商工会議所であり、頼れる商工会議所であることに改めて気づかされ、何のために商工会議所はあるのか、そのレーゾンデートルが問われたのではないのでしょうか。会員の一人ひとりに向き合い、第一線で現場と対峙しているだけに、あまたの歯がゆさも、焦りも経験したことであります。ご苦勞のほどが忍ばれます。

この禍もいづれは終結する。そのときその先に観えるものは何か。まさに国の新政権がスピード感をもって打ち出したあまたの問題提起は、広く国民の共感を得ております。今や日立商工会議所においても、稀にみる貴重な試練に直面したわけですから、言わずもがな、将来に向けて改めて幅広く意見を募り、問題点を整理しその方策を打ち出してほしいと思っているところです。

あたかも日立商工会議所は、70周年という節目の年、これはあくまでも一般論ですが、悪しき前例はないか、タテ割りの弊害はないか、デジタル化の余地はないか、会員の意見がスピーディに届くシステムになっているか等々、70年の良き伝統の反面、外からみていわゆる官僚制の弊害が残されているかも知れない。周年行事は、その大掃除のためにあるぐらいの覚悟が必要でしょう。

日立商工会議所には、伝統的に絶えざる革新の息吹が漲っております。どうぞ、秋山会頭を中心に今後共ますます革新につぐ革新をとげ確固たる次なる未来を築かれるようお祈り申し上げます。

日立商工会議所

顧問 山本 忠安氏



「創立70周年と日立市のいま」

日立商工会議所が創立以来、70周年を迎えられましたことは、大きな喜びであります。これも関係機関はもとより、会員各位のご支援の賜物であり、産業人の一人として、また前会頭としましても、お世話になりました皆様に、この場をかりて感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨今の情勢としましては、新型コロナウイルスが全国、全世界に蔓延し、社会情勢、市民生活の各般にわたり大きな打撃を与え出口が見えない中、新しい生活様式の模索と、事業活動に大きな変革が求められています。それぞれの活動に工夫、努力をしておられる事業者を支援するための情報提供、さらには市との協調での対策事業の展開により、対応を逸早く講じている当商工会議所の動向を、敬意をもってみております。Withコロナ、Afterコロナの社会にはグローバル経済、社会の枠組み、働き方などに大きな変化をもたらすでしょう。テレワーク、生活、仕事面へのデジタルテクノロジーの急速な進展はもちろんのこと、コロナ禍が企業経営や事業運営、サプライチェーンに対し大きく影響を及ぼし、新しい課題が顕在化しているのが今の状況です。

市民生活やものづくりを支える最低限必要な物は自力で確保する、他力に頼りすぎない自給体制の必要性も思い知らされました。コロナ禍はリーマンショック以上の影響を世界に及ぼし、戦後でも一番大きな禍いとなるかもしれません。国においても経済対策が矢継早に出されています。デジタルテクノロジーの発展、応用により、今後は人と人との接触、移動など経済活動に大きな変化が起こり、生産性や効率化を高めるとのことで、アナログで対面でのコミュニケーションを大事にするビジネスを手法としてきた世代の私としては、いささか寂しくも感じる次第であります。ただ企業、事業の基本は人。従業員、顧客を重視し、地に足をつけて、地域が受け入れやすく、働き手が安心して働ける経営理念、行動は変わることがないと信じております。

商工会議所は地域経済、情報を共有する経営者の集まりであります。より一層コミュニケーションを高めることで、我が街日立市のさらなる発展に尽くそうではありませんか。少子高齢化、人口減少に加えてコロナウイルスの影響で、日立市の課題は少なくありません。しかしながら、新たな決意のもと日立市の未来と発展のために、企業、経営者、商工会議所がより一体となり、新たな時代へ進む支援となるよう、地域の力としてこれからも尽力していくとともに、日立商工会議所の益々のご発展をお祈り申し上げます。

日立商工会議所

名誉議員 五十嵐 宏氏



「私と商工会議所」

日立商工会議所が創立70周年を迎えると聞いて万感を打つ思いです。

私は、昭和42年に38歳で商工会議所議員となり、昭和48年に常議員となり51年の間、商工会議所に在籍致しました。堀米町一丁目一番地に事務所兼住居を構え、商工会議所とは目と鼻の先なので閑を見つけずには参りました。

当時は、環境が良過ぎて娯楽の場所などまったく無く、僅かに近所に喫茶店が一軒あるきりでした。今では、健全な青少年の育成には最高な町です。自宅の前は平和通りで大きな道が「デカン」と居座り青い空に白い雲が浮かんでいました。駅前も、通退勤する多くの人が行き交い、働く町をイメージしており、そんな中、商工会議所は町の人のお城だったのです。木造モルタル2階建て、牛に引かれることなく通うようになりました。行っても何をすることもなく、ただ働く人を眺めていたり、たまに手の空いた人と話をしたりしていました。その内何となく、「門前の小僧習わぬ経を読む」となりました。夜九時には、日立工場から中国地方の子守唄のメロディーが流れ、それを合図かの様に眠りにつきました。かすかに波の音や汽笛が耳元に漂い、ぐっすり朝まで安眠。犯罪も無く鍵の無い家も多くあり、人々は謹厳実直な人が多く親切でもありました。

大企業は別格として、商工会議所は活発に動いており商工業者の灯台でもあり、行事の推進力で楽しさ嬉しさを共にしました。議員の方々も有名人で見識者ばかりです。

商工会議所事業の一端として見聞を広める為、国外を視察しました。ソ連、フィリピン、ニュージーランド、ニューカレドニア、国内では有名な商工会議所に行き、良く見て、良く聴いて、良く話をして、良く理解して、が貴重な財産となりました。

副会頭、委員長を誘って、越中八尾の「風の盆」にも行きましたが、越権でした。でも、皆に喜ばれました。

古き友の多くが天上人となった今。“遠き日を話す人なし秋の風”

尚、昔の事なので間違いがありますので、平にご容赦下さい。

日立商工会議所

専門相談員 星野 裕司氏



「創立70周年を迎えて」

日立商工会議所が創立70周年を迎えられましたこと、本当におめでとうございます。

昭和25年11月に貴商工会議所が誕生し、幾多の変革を繰り返しながら70年の歴史を持つ県内有数の商工会議所になった事と思います。

私は、商工会議所の会員であり、関東信越税理士会日立支部長を務めていた当時に、商工会議所の会合・総会などに出席させて頂き、それ以来、貴商工会議所が目指す、「会員事業所様へのきめ細かな相談業務」の専門相談員として、目的達成の一助となるべく、この業務に携わって参りました。

今、振り返りますと私は、群馬県沼田市で生まれ、東京に出て、日立市で税理士を開業し、終の棲家として定住しましたが、日立製作所の企業城下町として栄えたこの街の地域住民であることを大変誇りに感じています。日立市も県北の地域文化・地域経済を支えていく茨城県内でも有数な市であります。人口減少等から派生するいくつかの不安要素を抱えているところではないでしょうか。

今後、日立市は日立製作所などの大手リーダー企業及び関連企業の発展と共に、時代の変革を乗り越えながら歩みを進めて行く事と思いますが、現在、新型コロナウイルス感染者の増加により、世界的な影響が多方面の分野にわたり生じています。特に経済面での影響は深刻な状況であり終息は見えませんが、これらを克服し、来るべきオリンピック開催に繋げて頑張らなくてはなりません。そのためには、地域企業の持続的な経営支援に取り組むことが商工会議所の大きな責務であると感じており、その一端を担うため、今後起こりうる会員事業所様の課題解決への身近な専門相談員として私たちが託された責務であると、認識を新たにしているところです。

結びとして、秋山会頭をはじめとする日立商工会議所の益々の発展にご期待申しあげますとともに、3千会員皆様方のご多幸とご繁栄をご祈念し、創立70周年に寄せる言葉といたします。

公益財団法人 日立市公園協会

会長 根本 甲氏



「創立70周年を祝して・今思うこと」

日立商工会議所創立70周年を心からお祝い申し上げます。

また、日頃から本協会運営に、格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本協会は、貴商工会議所をはじめ、日立市、日立市観光協会（現日立市観光物産協会）及び地元有志で組織された神峰公園整備促進会の連合により昭和33年に設立された団体でございます。その経緯により、現在でも貴商工会議所は元より、多くの団体のご協力をいただきながら、事業運営を行っているところでございます。

さて、昨今は、各事業所の皆さまにおかれましても、経済環境が大きく変動する中、顧客のニーズに合った事業の展開に試行錯誤しているのではないかと感じております。取りわけ今年は、コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、厳しい経営を余儀なくされている会員事業者も多いのではないかとお察しいたします。

今の時代は、先が見えない不透明で、不確実な時代といわれています。

振り返りますと、2008年のリーマンショックによる経済危機や2011年に発生した東日本大震災、近年毎年のように発生している大雨・台風による大規模な自然災害、そして今日、新型コロナウイルスのパンデミックが世界中を震撼させています。

これらの発生は、予期することが困難であり、これまでの常識が通用しないことを痛切に感じさせられた事象です。

このような状況にある時こそ、自らが進むべき道を再確認し、知恵を出し、力を合わせて行動していくことが重要だと思っているところです。

本協会は、引き続き日立商工会議所と手を携えて地域の活性化に努めてまいり所存でございますので、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴商工会議所のますますのご発展とご活躍を心から祈念申し上げ祝辞といたします。

日立税務署

署長 寺門 昇氏



「創立70周年記念誌の発刊に寄せて」

日立商工会議所が、創立70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

日立商工会議所は、昭和25年の創立以来、常に地域経済社会のけん引役として、地域産業の育成・振興並びに市民生活の向上において、多大な役割を果たしてこられました。これも偏に、歴代会頭をはじめ、役員、会員並びに関係者の皆様方のたゆみない努力の賜物であり、深く敬意を表します。

さて、日立市は、一年を通じ温暖な気候と海・山の豊かな自然環境に恵まれた、鉱工業を中心とした日本有数の工業都市であるとともに、春には日本さくら名所百選にも選ばれた「かみね公園」や「平和通り」で桜が満開になり、夏には市内6つの海水浴場が賑わうなど観光資源も充実し、四季を通じて人々が集う県北地域の経済の中心地となっています。

企業城下町として発展を遂げてきた日立市ですが、従来のヒト・モノを中心としたアナログな経済活動から、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）、RPA（ロボットによる業務の自動化）やビッグデータなどを駆使した、新しい経済活動への期待も高まってきています。

特に、中小のベンチャー企業の方々にとっては、機動力を発揮して新しい分野へ挑戦する絶好の機会が到来していると言えるのではないのでしょうか。中小企業を取り巻く環境は、労働力不足の問題など、厳しい状況にあるところですが、このような状況であるからこそ、貴商工会議所に寄せられる期待は大きいものと思われまます。

税務行政を取り巻く環境は、経済活動の国際化・ICT化の進展など大きく変化しているところ、私ども税務当局としましても、納税者利便性の向上を図りつつ、社会経済の変化に柔軟に対応した効率的な事務運営に努めるなど、税務行政に与えられた使命を着実に果たしていく必要があります。

具体的には、自宅等からICTを利用した申告、いわゆるe-Tax（イータックス）やスマホ申告の普及を推進しているほか、効率的な税務相談が行えるようチャットボット（AIを活用した自動回答システム）の導入など、税務署や例年混雑する確定申告会場に足を運ばずに済むよう、納税者サービスの向上に取り組んでおりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに当たり、日立商工会議所におかれましては、この記念すべき70周年を契機に、県北地区の中心地であるこの日立市が、より豊かで活力のある地域となるよう、なお一層のご活躍をご期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。

日立労働基準監督署

署長 小室 順氏



「これまでを振り返って思うこと」

このたび、日立商工会議所がめでたく70周年を迎えられますことを、心よりお慶び申し上げます。

創立70周年の記念誌に寄稿できますこと光栄に存じます。

私は昭和63年に入省し、最初の7年を茨城県外の労働基準監督署で勤務した後、平成7年4月に地元茨城県に異動となり、以後、茨城労働局や県内の労働基準監督署に勤務してきました。

県南の出身であり、日立市に訪れる機会がなかった私でしたが、日立労働基準監督署に3度勤務し、通算8年半と最も長い勤務地となりました。その間、ものづくりの街日立市で、多くを学ばせていただきました。

日立市が銅山として発展し、日立製作所の発祥の地であるとともに、煙害をなくすことに力を注いだ鉾山と住民が当時世界一の高さの大煙突を築造し克服するという歴史を、映画「ある町の高い煙突」で改めて知り、日立市には思いやりの心が息づいていると感じております。

仕事から重大な労災事故が発生すれば調査をしなければなりません。新人の時、取引先の仕事をしていてパート労働者が機械に手を挟まれ大けがを負う事故があり、調査で分かったことは、安全対策が必要な危険な作業でありながら、安全対策をする時間もない、納期が非常に短い仕事だったことでした。

その時、関わる者の誰もが作業する者の安全を考えれば、つまり相手を思いやる心があれば、事故を防げたのではと、今でもその時のことを思い出します。

人は一人では生きていくことはできないといえます。企業も取引先、顧客がいて事業活動をしていくわけであり、お互い相手を思いやる心を持ち理解し合うことで、人も企業もよりよい方向に向かうのではないかと思います。「働き方改革」も従業員を思いやる取組こそが大切だと思っています。

新型コロナウイルス感染症が、企業活動、日常生活に支障をきたしている状況ですが、日立市、日立商工会議所のリーダーシップのもと、相手を思いやる心で、難局を乗り越えることができると信じております。

日立公共職業安定所

所長 大貫 斉氏



「日立商工会議所の活動に敬意」

日立商工会議所創立70周年おめでとうございます。

秋山会頭をはじめ日立商工会議所の皆様方が、地元企業の発展のため、さまざまな活動を行っていることに対し深く敬意を表します。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、当所管内の雇用失業情勢は厳しい状況が続いています。具体的には、有効求人倍率が平成27年6月以来5年ぶりに1倍を切り、従業員へ休業手当を支払い後、当所へ申請する雇用調整助成金の申請件数もリーマンショックを上回る申請を受付けております。

このような中、非営利の経済団体として、国、茨城県及び日立市の新型コロナウイルス関連支援策について日立商工会議所ホームページ等を活用して地域の企業へ情報を発信され、さらに雇用調整助成金について、日立商工会議所へ相談に来た企業をハローワークへ誘導するなど、当所の円滑な業務運営に繋がっており、厚くお礼申し上げます。

日立市においても、人口減少傾向が進んでおり、要因の一つとして若者の転出超過であり、その移動理由は「しごと」と「すまい」を求めた移動が多いと日立市では分析しています。日立商工会議所では、高校生を対象としたインターンシップや大学生等を対象とした面接会を実施するなど、若者が日立市内の事業所を早い段階で知り、雇用に結びつくことで日立市の人口減少の歯止め、そして会員事業所の新たな人材の確保にも繋がり、更に日立市の地域経済の活性化にも大いに寄与されています。

少子高齢化に歯止めがかかっていない状況下で、若者を対象とした事業を継続して実施していくことが、会員企業と日立市を活気づけることとなります。当所としても、労働関係において、日立商工会議所と今まで以上に連携を図り、地元企業の発展のための協力を惜しまない所存であります。

最後に、70年の歴史ある日立商工会議所の益々の発展、職員の皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

日本政策金融公庫 日立支店

支店長 林 弘二氏



「日立商工会議所と日本公庫」

日立商工会議所が創立70年を迎えられましたことを心よりお祝いを申し上げます。

日立市は日立製作所を始めとする多くの工場が立地し、国内有数の工業都市として発展してきましたが、地域を取り巻く社会経済環境は大きく変化しています。私は今年7月に日立支店長として赴任してきたばかりですが、私の目の前に広がる日立と、日立商工会議所が長年見つめてきた現在の日立。同じ日立でもその見え方は大きく異なるものと思います。日立商工会議所におかれましては、70年の長きにわたって、いかなる社会経済環境下においても、常に地元企業に寄り添い、地域経済の振興・発展のためにたゆみないご努力とご指導を重ねてこられたことに対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、目下コロナ禍はその収束が見えず、長期化に伴って地元企業の疲弊はその度合いを増しています。日本公庫では新型コロナウイルス感染症特別貸付の取扱いの開始以来、決定件数は全国で70万件に迫り、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者の皆さまの資金繰り支援を最優先に取組んでおります。

日本公庫が日立支店を開設して40有余年。この間日立商工会議所と日本公庫日立支店は、マル経融資を主力として、地元の中小企業・小規模事業者の皆さまへの金融、資金繰り支援に連携して取組んでまいりました。日立商工会議所によるマル経融資の推薦件数実績は全国屈指であります。新型コロナウイルス感染症の影響はもとより、人口減少、高齢化の進展、後継者不足による廃業の増加と地域の課題は山積しております。先行き不透明な今こそ、地元企業と強固なネットワークを構築している日立商工会議所と一層緊密に連携し、地域経済の活性化に協力していく所存ですので、引き続き公庫業務について、ご理解・ご支援を賜れますと幸いです。

末筆になりますが、日立商工会議所の益々のご発展とご繁栄、併せて、会員の皆さま方のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

関東信越税理士会 日立支部

支部長 菅原 一禎氏



「この街の未来」

この度、日立商工会議所が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

日立商工会議所は地元事業者の経営支援やまちの活性化に多大な貢献をしてくられました。我々税理士会も中小事業者の支援、発展のため活動しております。お互い地元経済の発展のため今までも増して協力し連携していかなければならないと思っております。

さて、私自身の話になりますが、日立青年会議所という団体に所属していたときに、さくらまつりで市民の皆さんから日立の名所や自慢できるところをキーワードとして募集し、それらを盛り込んだ歌をつくるという企画がありました。どこかのテレビ局でやっていたような気もしないではないですが、「平和通りの桜」「かみね公園」「風流物」といった定番ものや「大煙突」「チン電（日立電鉄線）」など現在は無くなってしまったもの、また「坂が多い」「すぐ渋滞する」といったまちの特徴など様々なワードが集まり、最終的に『さくらの花の咲くまちで』という歌が完成しました。私も日立で生まれ育ったので、共感できるワードが沢山あり、この企画に携われて良かったと思っています。

私が思うのは、何十年後かに、今の子供たちが大人になってこのような企画を行ったときに、より多くの素敵なワードが出てくるような、魅力的なまちづくりをしていかなければならないという事です。人口の減少は進行していますが、ポテンシャルはあります。パンダ誘致等を含めて行政と市民とが協力して、大人も子供も住んでいて楽しい街になることを願っております。

最後に前述した『さくらの花の咲くまちで』の3番の歌詞をご紹介します。

さくらの花の咲くまちで 僕らは夢を語ったね
 さくらの花の咲くまちで 僕らは夢を見つけたね
 平和通りに桜咲き 風流物がはじまると
 となりに家族の笑い顔 小さな幸せ感じたよ
 ああ今日もあの坂登れば
 希望に満ちた朝日が昇るよ

日立市十王商工会

会長 和田 芳信氏



「祝 商工会議所」

この度は、日立商工会議所が創立70周年を迎えられましたことを衷心よりお祝い申し上げます。

また、平素より当会運営に関しましては、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私共を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの影響など極めて厳しいが、全体として底を打ったとされ、今後は後半に向けて徐々に回復に向かうと言われておりますが、小規模事業者を取り巻く現状は、少子高齢化・後継者不足等により事業所数の減少や低い開業率といった様々な課題があり、事務負担の増加や新生活様式の実施に伴い売上減少の不安、頻発する自然災害など景気回復を実感できない状況であります。

このような中、商工会議所の強みは、全国515商工会議所、124万会員のネットワークを通じて、具体的・個別的な課題を認識し、その強みを生かして、地域で必要とされ選ばれる組織であり続けるため、多様な主体と連携協働を図りつつ、時代の要請にあった進化と変革を遂げておられることと存じます。

折しもここに記念すべき70周年を迎えるにあたり、地域産業の潜在能力を大いに引き出し、県北地域の中心都市として、日立市を全国にアピールできるようご期待申し上げます。

最後に創立70周年を契機として、日立商工会議所の今後益々のご発展と会員の皆様方のご飛躍をご祈念申し上げます、お祝いの言葉と致します。



小貝浜（茨城百景の一つに選定されている）



日立駅舎
（建築のノーベル賞とも言われるプリツカー賞受賞者の日立市出身妹島和世氏監修）



小木津山自然公園
（総面積59ヘクタール。アカマツ林を中心に樹木が茂り四季を通じて楽しめる自然公園）



日立商工会議所会館

日立商工会議所 創立70周年記念誌
令和2年11月発行

編集発行 日立商工会議所
〒317-0073
日立市幸町1丁目21番2号
TEL 0294-22-0128
FAX 0294-22-0120

写真提供 日立市
一般社団法人 日立市観光物産協会

印刷 日立高速印刷株式会社



かみね公園から見た日立市の夜景（日本夜景遺産認定）